



京都を走るLRTのイメージ
(大会チラシより)

■9月22日、京都で開催されたこの会議は、全国路面電車ネットワーク（RACDAもメンバー）がLRT推進のため、2005年の宇都宮で開催したの続く第2回目だった。約400名、57の研究発表が行われ、RACDAも吉備線の取り組みを報告した。

■2年に一度開催される「路面電車サミット」が、路面電車のある町での祭りなのに対して、こちらは路面電車がいない都市でも、今後LRTのやる気のあるところを励まそうと、研究発表とその都市でのLRTの啓発を目的としている。

■京都は日本で初めて路面電車の走った町だが、戦後いち早く廃止されてし

まい、これが全国的な路面電車廃止の契機ともなった。京都の廃止は、モータリゼーションに負けたからと言われていたが、本当は私鉄総連全体のスト華やかなりし頃、生産性の上がない路面電車の人件費が上がって赤字が続いたことが原因だ。

■今また、京都では今出川通りに路面電車を復活させようとか、四条通りを公共交通だけのトランジットモールにしようなどとしている。観光都市京都の景観などを考えると、地上から街を見物できる路面電車は、あった方がいいとの議論も出てきている。

■景観からいえば、せっかく電線の地中化までやったのに、路面電車の架線

柱は邪魔になる。そこで今回の研究会では蓄電池路面電車の研究がたくさん出ていた。またフランスのボルドーでは、地下鉄みたいに地上から集電するシステムも開発されている。

■路面電車がLRTに発展するには、多くの技術開発があった。MOMOに代表される低床車両もその一つだが、もうひとつソフト面での技術開発も大きい。アメリカが地球温暖化対策を本格化させれば、LRTをめぐる技術開発も一挙に進み、低コスト化も進むだろう。日本も負けてはおられないと来年からは毎年このような研究大会を開催することになりそうだ。

【LRT トピックス】

○9月定例岡山市議会で和気市議がJR吉備線をLRT化するために国から求められる交通戦略策定の進み具合を質問。高谷市長は（国が予算面で支援する）「全国10都市に選ばれるよう国に強力に働きかけたい」と答弁。

○新型車両の導入や安全設備の更新などローカル鉄道にかかる事業費を国が3分の1補助する制度が来年度創設される見込み。（以上、新聞より）

事務局 〒700-0823 岡山市丸の内1-1-15(禁酒会館3F) TEL&FAX 086-232-5502

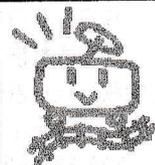
E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp

RACDA事務局 wiki

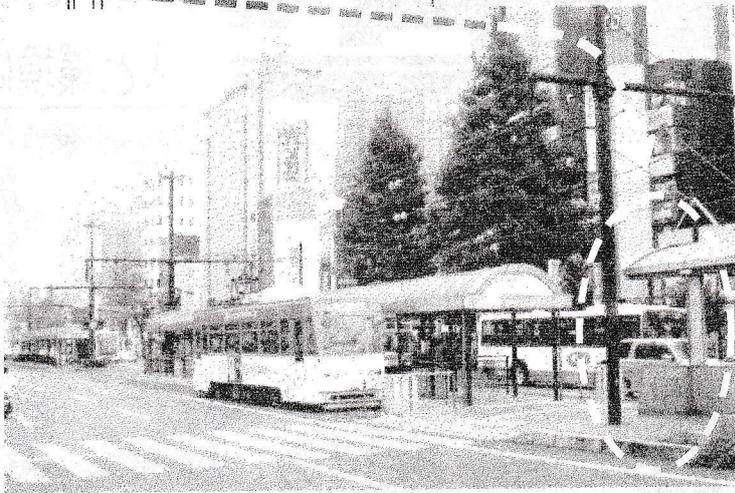
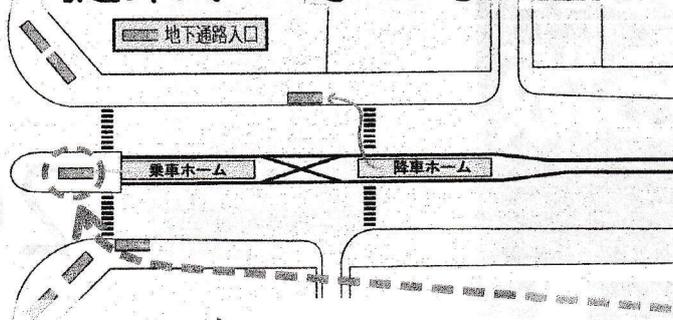
検索

RACDA

詳しくは http://wiki.livedoor.jp/racda_okayama/ まで



提案！ 小さな延伸はどうですか



岡山駅前(乗車専用)電停。後方の降車電停に停まっている電車に乗ってこまでこれないものか…。写真右に写る地下街への入り口はすぐそば。

「昔からこうなっている」と言えはもうひとつ、どうして地下街への入口と電停との間に屋根を繋ぐことができないのだから。

RACDA かわら版連載コーナー
「ぼっけえ便利なバスマップ」の

小さな旅

■RACDAは路面電車の駅前広場内乗入れと都心部の延伸環状化を長く訴え続けています。でも、そればかりに意識が集中しても、速効性はあるのか…。街の構造と人の流れを変える(ま、比較的ちょっと)大きな事業ですので、これまでの経過をみても、明日やあさって「すぐ便利になる!」ということは期待薄です。残念ながら。

■そこで、すぐにでもできて、お金もかからない小さな「路面電車延伸計画」を提案したいと思います。題して「駅前電停降車場所 “あと数十m” 延伸計画」

■現在の駅前電停は乗車専用ホームとそれより手前の降車専用ホームに分かれています。駅前終点で電車を降りる場合、まだ駅方向に数十mレールが伸びており、向こうに見える乗車専用ホームには直接JR改札口や地下街に繋がる階段があるのに、手前の降車専用

ホームで降りて横断歩道を渡らないといけない…。なぜなのか。

■路面電車を運行する岡電さんによると、朝夕のラッシュ時には1つのホームでは対応できないからなのだそうです。そうすると、ラッシュ時“以外”はあと数十m延伸運転してもいいのではないか?? 駅前広場内までの延伸だと200mほど伸びて駅はすぐそばとなり、JRへの乗継ぎは飛躍的に便利になります。ならば今の時点で数十mでも駅に近づき、歩く距離がそれだけ

短くなることは効果があるのではないかと。駅に急ぐ人、荷物をたくさん持っている人、子連れの人、足が不自由で少しでも歩く距離を短くしたい人…。

■「ずっと前からこうなっていた」と不便を感じながらもそのままになっていることって、多いですよ。だからこの駅前電停の話も「本当に今のやり方がベストで変えようがないのか」改めて検討してみることも価値があるのでは。小さなことの積み上げは大きなことにも繋がっていきそうです。(田辺義博)

今月の☆☆☆ できるバス・消えるバス

- 両備バス 10月の路線バスに関する変更の状況
- <停留所名変更>
- (旧) 岡山あさひ病院前 → (新) 岡山リハビリテーション病院前
 - (旧) イオンショッピングセンター → (新) イオンモール倉敷
 - (旧) 岡山国際ホテル → (新) ホテルオークラ岡山
- <直島とくとくきっぷ>
- 「家プロジェクト」の鑑賞料金体系の変更にともない、9月27日で販売を終了します
- <路線廃止>
- 9月30日をもって『東岡山駅～城東高校～西大寺線』が廃止されます
- 中鉄バス<吉備路観光ルートバス>
- 岡山 destinations キャンペーンに伴って運行されていた「吉備路観光ルートバス」が9月30日をもって運行終了になります

- 井笠バス<路線廃止>
- 9月30日をもって廃止されます
- 井原～川崎医大線 (井原BC～矢掛・倉敷駅北口～川崎医大間)
 - イオン倉敷～清音循環線
- 備前バス<備前市内バス>
- 10月1日にダイヤ改正・停留所新設・経路変更を行います
- 新設 八塔寺ヴィラ前 (八塔寺より路線延長)
 - 経路変更 県道から土師神根地区内市道経由に変更、地区内フリー乗降
 - 停留所移設 関谷学校 (県道沿いから関谷学校駐車場内に移動)
- 中国JRバス<京浜吉備ドリーム号>
- 10月1日より停留所の新設・女性専用席の導入を行います
- 新設 岡山放送前・新宿駅南口
 - 2階建て車両の1階席が女性専用席になります
- バスマップサミット in 広島
- 今年で第5回となるバスマップサミットが広島で開催されます。
- 日程：10月13日(土)～14日(日)
- ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/bus-map/>